

Public Relations Mogami

広報もがみ No.737

表紙

夏の流しソーメンは、最高！

7月31日 みんなの祭(旧向町堂林署)
向町地区学童保育の「夏休みお楽しみ
親子行事」のーコマ。お腹をすかせた子
どもたちは、流れってくるソーメンを夢中
になって食べ、「流しソーメンはやっぱり
おいしいね！」と笑顔いっぱいでした。



8
2012

人と人との絆をつなぐ

元気再生
復興元年

震災復興絆づくり支縁事業レポート

被災地との相互交流による復興支援活動を支援する「震災復興絆づくり支縁事業」が、町内各地で行われています。7月末現在において、この事業に申請し承認された事業は8件。事業総額は1,641万円、共同実施を含む実施団体は15団体を数えます。これらのなかから、既に実施された4つの事業の様子をご紹介します。

福島っ子 キャンプin もがみ

福島っ子キャンプinもがみ実行委員会

8月1日～6日

原 発事故による放射能の影響で、自由に外遊びができない福島県内の小学生と、最上町内の小学生を対象にした「福島っ子キャンプinもがみ」が、8月1日～6日までの5泊6日の日程で行われました。

キャンプに参加した小学生(3年生以上)は福島県内が30人、町内が16人の46人。また、新北最上校の有志生徒9人をはじめ、東北芸術工科大学と聖路加看護大学の学生22人がボランティアスタッフとして、生活や活動を共にしました。

このほか、食事づくりや応急看護などの生活面をはじめ、物品調達や安全管理、参加者の輸送等の活動面で



のサポート役として、実行委員会を構成する県内外の4つのNPO団体から100人近くものスタッフが運営に参加しました。今回のキャンプで行われた主な活動は、次の通りです。

8月1日・出会いの日
開所式、湯めぐりウオークラリー大会、ウエルカムパーティー
※瀬見温泉に宿泊

8月2日・発見の日
乗馬体験、草原ハイキング、陶芸体験、音楽ワークショップ
※8月4日まで前森高原に宿泊

8月3日・協力の日
農作業体験(スバラガスとジャガイモの収穫)、音楽ワークショップ

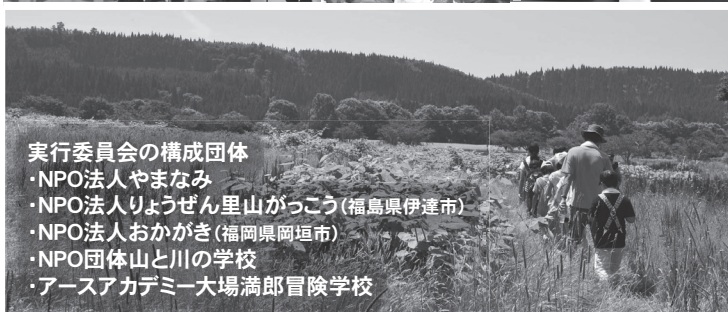


8月4日・成長の日
白川上流での川遊び、芋煮会

8月5日・達成の日
音の風コンサートに出演、さよならパーティー
※赤倉温泉に宿泊

8月6日・約束の日 開所式移動

★ 実行委員長の大場武勇さん(NPO法人やまなみ理事長)は、「猛暑続きの6日間でしたが、子どもたちは最上町での自然体験や音楽体験、宿泊体験等を通して、互いの友情を深め合うことができました。今後もぜひ、継続していきたいと思えます。」と語ってくれました。



実行委員会の構成団体
・NPO法人やまなみ
・NPO法人りょうぜん里山がっこう(福島県伊達市)
・NPO法人おかがき(福岡県岡垣市)
・NPO団体山と川の学校
・アースアカデミー大場満郎冒険学校



町 民体育館が、熱気と汗と笑顔に包まれました。7月29日に行われた第4回最上町健康づくりフェスティバル。町内外からおおよそ200人が集まり、宮城県と福島県からは52人が参加しました。

講師を務めたのは、サルサダンス日本代表の渡辺俊治郎先生。レッスンは午前と午後の2部構成で行われました。午前の部では、簡単なエアロビクスで楽しく体を動かし、午後の部では、様々な国の音楽を使ったダンスにチャレンジしました。明るく楽しく、テンポの良いレッスンに、会場が一体となって盛り上がりました。参加した皆さんの声を聞くと、「他の健康づくりの支援事業にも参加したけど、今回が1番楽しかった」、「これから続けてほしい。石巻にもぜひ来ていただきたい」、「まちづくりの積極性に感激。ぜひまた参加したい」と好評でした。健康づくりフェスティバルは、今後も毎年実施していく予定です。

第4回最上町健康づくりフェスティバル

最上町社会福祉協議会

「これまで参加した復興支援事業の中で、今回が1番楽しかった」



黒 沢町内会26人が、7月28日～29日にかけて、気仙沼市本吉町前浜地区を訪ね、同地区の皆さんと交流しました。初日は震災直後に避難所になった「清涼院」を訪問し、「ご住職のお話を拝聴しました。その後、前浜地区の皆さんと、今後の交流の進め方等について熱く語り合いました。次の日は、同地区に震災を機に植樹された「慰霊と記憶の桜」9本の周りの草刈りを同地区の皆さんと協力して実施しました。

黒沢地区の皆さんは、「この活動を通して、両地区の縁がより強く結ばれたことを感じました。また、復興を支援するなかで一番大切なのは、忘れないことであることを改めて確認しました」と語ってくれました。

一番大切なのは「忘れないこと」

町内会同士の縁づくり交流 黒沢地区 × 気仙沼市本吉町前浜地区



被災地とのスポーツ交流

赤倉温泉観光協会 最上町サッカー協会



7月31日～8月4日、宮城県の石巻高校、石巻西高校、松島高校のサッカー部員総勢76人を町内に招き、県内高校や社会人との交流試合を開催しました。

◆石巻高校サッカー部監督から温泉に入れてサッカーが出来るとても良い環境に、子供達も大変喜んでいて、「また来たい！大会に勝ち残れたら来年も参加できますか？」という声がたくさん寄せられました。

学校の周りはまだ震災の傷跡が残っています。そのような状況の中、赤倉に来てサッカーだけに打ち込むことができたので本当に感謝しています。充実した4日間で、サッカーの質も高まり、最上町の皆さんに心から感謝しています。これからもまた最上町で交流合宿をしていきたいと思っています。

「大会に勝ち残って、来年も参加したい！」



音の風コンサート2012

Belive in music! Belive in voices

●東日本大震災復興支援●テーマは「つながる想いがひとつになる日」
会場いっぱい「絆」の歌声が響きわたる

8月5日、中央公民館大ホールを会場に「音の風コンサート2012」が開催されました。このコンサートは昨年8月の「東日本大震災復興支援コンサート」を引き継ぐもので、「歌声を通して復興支援にむけた心を一つにしよう」というねらい。町の「東日本大震災復興絆づくり支縁事業」の助成も受けて、主催はNPO法人やまなみや最上町コーラス隊、コーラスもがみ等の町内の関係団体で組織する実行委員会です。また、同時期に開催中の「福島っ子キャンプ

inもがみ」の実行委員会も企画・運営に加わりました。コンサートの開演は午後2時。第1部は、池田弦さんの歌や池田敏美さんのヴァイオリン演奏を中心にしたプログラム。第2部は福島っ子キャンプinもがみの参加者による歌や踊り、第3部は最上町コーラス隊をはじめ出演者全員による大合唱という構成内容でした。会場は350人もの入場者でびっしりと埋め尽くされ、震災復興への思いをのせた歌声が会場いっぱいに響きわたりました。



最上中3年生を対象に夏休み学習会を開催 それぞれの進路に向け、第一歩

7月30日～8月1日の3日間、もがみサポート塾主催の学習会が開催されました。会場の中央公民館には最上中の生徒約30人が集まり、わからないところを教えあいながら、学習に取り組んでいました。もがみサポート塾では、地域ボランティアの方々の協力を得て、今後も学習支援活動を実施し、受験生を中心に学生の皆さんを応援していきます。



第24回山形県消防操法最上支部大会 個人優秀賞を獲得する大健闘！

7月29日、最上広域消防本部屋外訓練場を会場に、第34回山形県消防操法最上支部大会が開催されました。当町からは、町操法大会で優勝した第3分団第2部（本城）が出場。惜しくも優勝には手が届きませんでした。指揮者の藤井春寿選手と2番員の結城貴宏選手が、減点なしで個人優秀賞を獲得する大健闘をみせました。選手の皆さんお疲れ様でした。

最上町代表チーム 第3分団第2部（本城）
指揮者 藤井春寿 1番員 荒木伸吾 2番員 結城貴宏
3番員 小林弘典 補欠員 須貝康幸 ※敬称略